

わが青春の1枚



平成7年8月 高知県奈半利町奈半利橋にて



「あるき遍路の魅力」

富山検査株式会社 取締役会長 高見 貞徳

始めに「歩き遍路」とは、四国霊場八十八ヶ所のお寺とお寺の間を歩いて巡礼することを言います。歩き遍路と言えば、一般的に「難行・苦業」など、とかく暗いイメージが付きまといまいます。確かに歩き始めた当初はその通りでしたが、15年間も飽きずに続けていますとその強いイメージが段々和らいできて、どちらかと言うと楽しくて次回の日程が待ち遠しくなってきます。

もう既に5回の結願を終え、6周目に入っております。距離も延べ6,600キロメートルに達しています。しかし「お四国病」と言う重い病気に罹り、益々のめり込んでいます。

ここ数年では一年に3回出かけています。つまり5月の連休、お盆休み、年末年始です。1回当たり正味8日間が目安です。それに富山から四国の現地までの移動が2日間必要ですから都合10日間の休みを確保しています。

歩き遍路の効能は何といっても体力の向上が図られ、健康全般に優れている事です。

また、長時間歩き続けると頭の中が「空」になり日頃のストレスがすっかりなくなることです。この現象を私は「汚れた水がいっぱい入っているコップを逆さにして全てを捨ててしまう」状態と考えています。

そして何と言っても最も大きな収穫は「ヒラメキ」のチャンスが多いことです。

私達が日常、仕事や私生活で思わぬ失敗やアクシデントに見舞われることがあります。その際、最善の対策を講じますがどうしてもこうにも、こっちもさっちもいなくなる時があります。ところがある瞬間「パッ」と万事がうまく解決することがあります。この現象を「セレンディピティ」と言います。セレンディピティとは一言で言えば「偶然に幸運を見つけ出す能力」と言えます。もっと簡単に言えば「ヒラメキ」の感度をもっともっと向上させる力の事と言えます。最近の歩き遍路を継続する最も大きな目的は更なるヒラメキ感度の向上にあるようです。